

第44回「議員と語りかい」報告書

2班 (No. 1)

開催日	令和 6年 2月 9日 19時 00分 ~ 20時 30分		
開催場所	横川公民館		
団体名	個人参加 (横川地区)	参加人員	21人 (男 18人 : 女 3人)
出席議員	竹下 智行、塩井川 公子、川窪 幸治、今吉 直樹、野村 和人、久保 史睦、前島 広紀、宮内 博		
役割分担	班 長 (竹下 智行) 副班長 (塩井川 公子) 記録係 (川窪 幸治)		
テーマ及び具体的な内容	<p>「10年後の地域づくり、幸福度の高いまちへ」</p> <p>4班に分かれてのディスカッション形式でご意見等をお聞きした。班によってはテーマを「1年後、2年後、5年後を考える」に変更して行った。</p> <p>グループごとに概要を発表し全体共有を図った。</p>		

意見交換での主な話題等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	<p>Aグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆物価高騰する中、個人所有の土地や田んぼ・畑の広さや収穫量を加味しての税金徴収にできないのか。 ◆WCS (稲発酵粗飼料) 支援を現在3月に支給されているが、湧水町は12月に支給されているので本市も何とかしてほしい。 ◆鳥獣被害対策で狩猟期間中に捕獲報奨金が減額、半額以下になっていたのはなぜか。 ◇本年度の予算を上回る捕獲数で、報奨金を予算内で対応したため半額ほどになった。次年度からは減額にならないように計画をしている。 ◆自治会の高齢化が進み判断力がなく、物事を決めることができなくなっている、隣の自治会などとの統合を進めることはできないのか。 ◆中山間では特に空き家が増えている、リフォーム費用支援や空家バンク、解体費用の支援の充実を図ってほしい。 ◇老朽化危険空き家の解体費用は、件数に限りはあるが経費の3分の1以内、上限30万円で実施している。 ◆学校の統合問題がすぐに可能でなければ、近隣の学校同士で授業時間を調整して授業を行ってほしい。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

Bグループ

◆公務員のなり手が少なく人気なくなっているが、市民サービスの低下にならないよう対策はできるのか。

◇DX化など、省力化できる事などを検討し、市民サービスに影響が少ないように提案していく。

◆学校統廃合問題では安良小の児童数がだいぶ少なくなり、地域、保護者も心配をしている。

◆家の周りの草刈りをすることができなくなったので何とかしてほしい。

◆丸岡公園でグラウンドゴルフをしているが、マナーの悪さや音響施設の不具合等聞いている。

◆丸岡公園は桜の名所でもあるが、桜の木の老朽化も心配である。

◆浄化槽の保守点検について、毎月の点検もあるが、県の環境協会の検査も行われるので二重にならないように改善してほしい。

Cグループ

◆県道445線紫尾田牧園線は離合もできないような個所がある。早く工事を進めることができな
いか。

◇県道は県の管轄なので、住民の要望を集める等して県の地域振興局に要望を上げたらどうか。

◆丸岡公園を指定管理者が管理しているが、利用者が減少して心配しており、もっと地域住民
が利用しやすい施設にしてほしい。

◆横川は日頃の生活用品を買う場所がないのでつくってほしい。

◆空き家バンクの充実を図り有効活用してほしい。

◆横川健康温泉センターの老朽化が進み、地域の方々も溝辺や国分の温泉にいつている。また、
溝辺ふれあい温泉センターと横川健康温泉センターの休館日が同じなので改善してほしい。

◇指定管理者に相談してみる。

◆ふれあいバスを10年後も運行してほしい。

◇去年の決算では横川地区ではふれあいバス利用者が606人、8%前年度減少している。地域の
実情に応じてデマンド交通を走らせている。国分、隼人地区でM7ゴンの実証実験もはじまっ
ている。今後も実情に応じた交通の在り方が大事になる。

◆小中学校の通学路は雑草などが繁茂して、児童生徒よりも高くなり大人でも手が届かなくな
っているので行政で何とかしてほしい。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

Dグループ

◆買い物をする場所がなくなり生活弱者に陥っている方が増えている。

◆買い物に対する民間サービスも出てきているが、「いつ、どこに」居るのが周知されていない、民間と行政と協力して実施してほしい。

◇現時点で買い物場所不足に対する解決策は見出していないが、今後、あらゆる可能性を模索していきたい。

◆よいよんせ物産館が建設から25年が経過し、改修のできる期間になった。これを機に内装、トイレ、食堂の改修をしてほしい。

◇よいよんせが、生活に必要なものを販売できるようになれば、買い物の問題も緩和すると思う。

◆高齢者のゴミ出しについて。自分でゴミを出せるうちはよいが、出せなくなった方は地域の方の善意でお手伝いを待っている状況。何とかしてほしい。

◇高齢者等ごみ戸別収集事業を説明

◆横川ふれあいバスの便も減少しており、走っていても横川しか走らない。できればエリア拡大をして溝辺や湧水までの行路にしてほしい。また、人だけではなく、食材などの運搬もしてはどうか。

◇現在、実証運行中の「きりしまMワゴン」や既存の公共交通で、横川地区と溝辺地区の広域で利用できるような制度設計はできないか、行政に要望していく。

◆空き家では、庭木が生い茂り放置され隣にまでいっている状況がある。空き家バンクはあるが機能をしていない、市民に利用可能なものにしてほしい。

◆農地問題では、公民館長さん方が、南さつま市、南大隅町で行われている農福連携事業者の見学に行った。このような取組を本市でもできないのか検討してほしい。

◇農水省の補助事業を活用し実施していくことも考えられる。また、将来の農地のあり方を定める地域計画の策定作業も令和6年度にある。他地域の事例を参考にして、住民と行政が連携しながら本地域にあった取組を進めていければと考える。

◆地域おこし協力隊の活用を要望しているが実現できないのか。

◇前回の横川地区「議員と語りかい」での要望で、地域おこし協力隊を横川でも活用できないかということだった。現在、行政に令和6年度予算において予算措置をお願いしている状況で、令和6年度の当初予算案を見守っている。

◆国道504号線の新たなルートについて。野坂から空港手前までの進捗状況やどのルートを通るのか教えて欲しい。

◇国道504号溝辺道路の公表されている計画を説明。

◆学校統廃合では地域と保護者の意見をじっくりと熟成させながら慎重に対応していくべきである。

意見交換での主な話題等

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

- ◆自治会制度の充実として、人口減少の加速する中、自治会を維持できないところへの支援の充実をお願いしたい。自治会への補助はあるが公民館への補助や支援サポートの充実をお願いしたい。
- ◆高齢化で民生委員数が減少し、無理をしながら継続しているが何とかしてほしい。
- ◆他地域のコミュニティー協議会の地域事例では、地域の方が買い物や移動支援を行っているが、本市においても、もっと勉強をして有料でもいいので活用できるようにしてほしい。

全体

- ◆指定管理で管理されているが、地域の方々が利用しやすい丸岡公園にしてほしい。
- ◆植村今村公民館の有志で地域支援活動グループを結成し活動をはじめたが、思うようにしていない。そこで市議会議員の方々の力を借りて地域おこし協力隊を導入してほしい。
- ◆移住定住の促進を目的として、空き家バンクやネットを活用されて横川や湧水町に若い方々が移住されているが、経済的な面や仕事や子育てなど多くの悩みを抱えられている。市も本格的に支援を行うべきではないのか。
- ◇地域の方々が移住者のところに足を運び、事業を活用しながら手助けをされている。市議会議員の力を合わせることでスピード感のある活動ができると考えています。
- ◆横川の安良小学校では、児童が一人で授業をうけているが、学校や地域の・保護者の考えもあるので、すぐに統合できなくても横川3校の合同授業などはできないのか。

意見交換での主な話題等